

佐久穂中学校の『三昧清掃』とは？

「長野便教会」会報第99号に出てくる、佐久穂町立佐久穂中学校の『三昧清掃』について少し詳しく紹介します。

佐久穂中学校では、清掃には以下の6つの段階があり、その最高位の『三昧』への到達を目指すのが『三昧清掃』なのだそうです。

<清掃の六段階>

1. **逃避**「とうひ」…清掃から逃げようとしている段階

- ① ふざける、遊ぶ、ぶらぶらしている。
- ② 支度ができない、清掃場所へさっと思わない。

2. **処理**「しより」…仕方なしに、形だけ清掃をする段階

- ① 一応清掃をしているが、だれも見えていないとやらない。
- ② 友達や先生の目を気にしながら、自分の態度を変える。

3. **分担**「ぶんたん」…能率よく早く終わらせようとする

- ① 分担を細かく決めて、自分の所だけを早く済ませる。
- ② 他人の分担は決して手伝わない。
- ③ 楽な分担を取り合いする。
- ④ 時間が余っても、やめてしまい、道具は片づけない。

4. **挑戦**「ちょうせん」…やる気をむき出しにしてやろうとする

- ① ○○をやろうと狙いを定めて熱心にやる。
- ② できない人、やらない人がとても気になる。

5. **誠実**「せいじつ」…最初から最後まで静かに緻密にやる

- ① 身支度がきちんとできている。
- ② 取り掛かりが早く、後始末まできちんとできる。
- ③ 清掃全体に気配りができる。

6. **三昧**「ごんまい」…清掃と自分が一体になって楽しくできる

- ① 何にもこだわらずに、ただただ熱心に清掃をする。
- ② 最初から最後まで他人がいようがいまいが態度は変わらない。
- ③ 必要最低限のことを話すだけで、黙って清掃をするのみ。

いかがですか。この「清掃」というところを、子どもたちならば「部活」や「勉強」に変えても不思議とちゃんと意味が通りますよね。

大人ならば、「清掃」のところを「仕事」と置き換えて考えるとどうでしょうか？子どもたちに「勉強しなさい」「お手伝いしなさい」という前に、自分自身が毎日「三昧」レベルで「仕事」ができているか、胸に手をあてて考えてみたいものです。